

ヒアルロン酸による左右差解消例



令和6年5月18日(土)施術前1



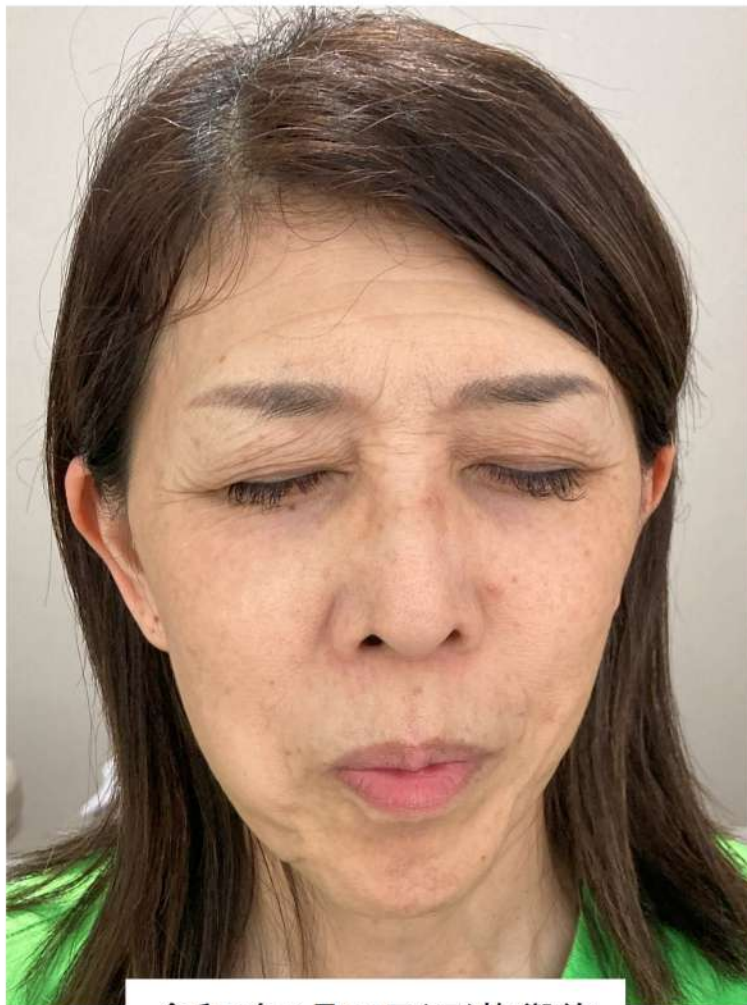
令和6年6月23日(日)施術前1



令和6年9月22日(日)施術前1



令和6年9月22日(日)施術後1



令和6年9月22日(日)施術前



令和6年9月22日(日)施術後

たるみが目立ち、顔が極端に縦に長くなってしまっていた患者さんですが、ハイフ(焦点式超音波)、レーザートーニング及びフラクショナルレーザーを実施したところ、たるみは改善し小顔化に成功しましたが、左頬のこげが顕著で左右差が顕在化しました。そこで、低濃度ヒアルロン酸(ボライト)を頬の表層に注入しました。結果は画像の通り、見事に左右差が解消しています。